

七五三の着付け 養護施設女児に

和歌山・社会奉仕団体



こぼと学園の女児に着付けを行く井内さん(和歌山市で)

和歌山市の社会奉仕団体「和歌山キワニスクラブ」

は27日、同市直川の児童養護施設「こぼと学園」の女児(6)に着付けとヘアセットをプレゼントした。

会員の美容室経営、井内紀子さん(49)が「少し大人びた気持ちになる特別な思い出を、養護施設の子どもにも味わってほしい」と発案し、2018年から井内さんの美容室で取り組みを

開始。これまでに市内の2施設の児童11人にプレゼントしてきた。

美容室を訪れた女児は緊張気味だったが、美容師に「痛くない？」と優しく声をかけられながら髪を結んでもらうと、次第にリラックスした表情に。井内さんに青を基調とした晴れ着を着せてもらい、「かわいいね」と褒められると「ありがとうございます。うれしい」と笑み

を浮かべた。

女児は、同クラブの会員から贈られたちとせあめを手し、施設の職員に連れられ、写真館での記念撮影と七五三参りへ向かった。

井内さんは「世の中には自分たちを気にかけてくれる大人がいるということを感じてほしい。子どもたちの生涯の思い出になればうれしい」と話した。